一般質問 市政に望む

今回の定例会では、６月13日、14日、15日、18日の４日間にわたり、27名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案をまじえながら、市長などの考えをただしました。

質問、答弁の要旨は次のとおりです。

ユビキタス／行政の説明責任

大塚信彰（まちだ新世紀）

問　誰でもいつでもどこでも利用できる**ユビキタス社会**への対応について、どのような検討をしているか。

市長　町中案内システムの導入ということで、公共サインと携帯電話を利用した誘導システムの整備を計画しているところです。

問　まちづくり事業における行政の説明責任はきちっと果たせているのか。

町田副市長　今後一方的ではなく、理解ができる説明というものを十分配慮した行政、事業対応に努めていきたい。

問　住居表示変更に伴う事業者の業務上発生する経費を軽減する支援策はないのか。

町田副市長　質問の趣旨を十分踏まえ、今後、住所整理を進めていく上で関係者の方の負担を少しでも軽減する方策について、市としても前向きに検討していきたい。

特別支援教育の取り組みを問う

市川勝斗（まちだ新世紀）

問　今年四月に特別支援教育が始まりました。町田市と都立養護学校の連携は。

市長　連携は重要だと考えています。毎年、市内の各福祉施設、都立の町田養護学校、町田市の三者で支援会議を共催し、進路についての支援を行っているところです。

問　移行支援について、市の取り組み状況は。

健康福祉部長　移行支援事業として新たな障害者自立支援法の体系をやってくださる事業体との協力関係を町田市障がい者就労・生活支援センターをもとに取り組んでいくということで、市の方もこの部分を十分支援し、新しい時代に対応していきたい。

問　市民病院における市民協働について、大学連携におけるアートの進捗状況は。

市民病院事務長　学校と協定を結ぶ段階まで来ています。

メンタルヘルス対策について

齋藤祐善（民主党・社民ネット）

問　市役所におけるメンタルヘルス対策の現状と課題は何か。

総務部長　二〇〇六年度から、職員が抱えているストレスに対する気づき、これをできるようにヘルスアドバイス健診を導入しました。管理職と健康推進室の連携づくりが重要だと考えており、早期に治療ができるような仕組みづくりを考えていきたい。

問　乳幼児・義務教育就学児医療制度における医療証の利用可能機関を都外にも広げるべきと思うがどうか。

子ども生活部長　町田市は現金給付がほかの市、区と比べて多いので、東京都に対して現金給付がないように要請しています。今後も引き続き、特に神奈川県等でかかった場合に、医療証の使用ができるよう、東京都に要請していきたいと思っています。

市制施行五〇周年記念に向けて

新井克尚（民主党・社民ネット）

問　五〇周年記念事業として、郷土かるたを作成してはどうか。

岩崎副市長　市民団体や学校が中心となり、地域活動として活用できるよう検討していきたい。

問　埼玉県が行っている教育バウチャー制度を導入すべきと考えるがいかがか。

岩崎副市長　バウチャー制度そのものについては、今後とも積極的に研究を進め、検討していきたい。

問　玉川学園前駅隣の鶴川五号踏切等の歩道の狭い踏切は、安全性を確保のため、関係機関と協議し改善すべき。

建設部長　鶴川五号踏切は、小田急電鉄株式会社及び学校法人玉川学園と協議を行っていきたい。市全体の踏切の改良事業は、歩道部分の拡幅や周辺道路への交通量の分散化なども含め検討していきたい。

玉川学園前駅隣の鶴川５号踏切

パブリック・コメントについて

山下哲也（公明党）

問　**パブリック・コメント**について制度化すべきと考えるがどうか。

市長　手続きの方法や基準などについて定めていく必要があると考えており、今年度中に制度化を図っていきます。

問　シルバーピア団らん室の利用を周辺地域と協働による利用、運営してはどうか。

保健介護推進担当部長　入居者同士や、入居者を含む地域の高齢者の交流の場であることを基本とし、町内会・自治会などと協働の利用を検討していきたいと考えています。

問　広告事業の可能性について市民とともに、積極的に検討してはどうか。

岩崎副市長　マーケティングの視点を持ち、市の施設や発行物等の広告媒体としての魅力や価値を把握し、ＰＲをしていくことは重要なことと考えています。

多摩境駅広場のバリアフリーを

佐藤洋子（日本共産党）

問　階段の多い広場のバリアフリー化、雨漏り補修、案内表示板設置、広場を明るくなど整備を図るべき。

建設部長　バリアフリー、雨漏り、案内表示は検討し、明るくなる方策は進めたい。

問　はしか予防ワクチンを小学生から青年まで希望者に無料で接種すべきだがどうか。

保健介護推進担当部長　市立中学校で無料接種を実施しています。高校生については、都が都立と私立に対応しています。小学生、大学生、専門学生については要望として受けとめたいと思います。

問　一般質問に対しての市長の答弁は説明不足。答弁する基準は何か。

市長　行政経営のトップである市長、副市長として、みずから説明すべきことは、行政運営、あるいは政策の基本的な考え方に関することです。

小田急線町田駅第一踏切問題！

三遊亭らん丈（まちだ新世紀）

問　町田駅（通称）第一踏切に時間単位の通過本数を表示する装置の設置を求める。

建設部長　小田急電鉄株式会社に問い合わせをしたい。

問　町田市職員の給与水準は類似団体五市中最高額（平成一六年度）だが、**ラスパイレス指数**を改善してはどうか。

総務部長　財務省の基準ですが、その出し方等、各地方公共団体には全く伝わっていない状況で、まだ評価が定まっていない部分もあるかと思いますので、この時点で町田市がそれを併記する段階には至ってないかと思います。

問　「宙に浮いた」年金記録に関して、町田市は独自に相談窓口を設置してはどうか。

市民部長　年金納付記録問題で、問い合わせが殺到している状況を考えると、そういった動向をタイミングをとらえながら、検討していきたい。

市民の目線からのまちづくりを

熊沢あやり（自由民主党）

問　帰国児童・生徒の学校生活への適応など、不安をどう解消していくのか。

学校教育部長　担任教諭が中心となり、児童生徒の状況に応じて、個別に日本語の指導を含めた補習や、学校生活に慣れるための相談に応じたりしています。

問　市民病院は、地方公営企業法全部適用後、適正な給与体系となるのか。

市長　病院管理者が、給料表を独自に病院の経営責任としてつくるということです。

問　町田に児童相談所が設置されるまでの間、市内の乳児院等に保護者が相談できるようにすべきではないか。

子ども生活部長　子ども家庭支援センターを中心にいろいろな形で相談を受けています。乳児院については、具体的な話があれば、積極的に連携をしていきたいと思います。